

NOTE BOOK

あたより帖

かあるとせさく

あたより帖

$$7+7+4+6=20+1=21$$



毎日、母とんの部屋へやの机の上うへにあつてぬ。

INDEX

CHAPTER	PAGE
て	
かけ	
いよ	
う	
ち	
に	
心	
と	
心	
に	
午	
と	
午	
ん	
ち	
董	
な	
ま	
好	
大	

かあるちやん。三年生ですぬ。
何時まで一二年の時ときの
ように。道みちをおけではない
事はよく知しっているでしよう。
父ちちちやんも母ははちやんもかあると
良い人いいひとにしたいので力を合あせて
働はたらいていますから。董とうも自分の
力をとつと出して。まじめに
やつてちようだい。
良いお話おはなしも。悪いお話おはなしも二つ
あたらり帳ちょうに書いて。母ははちやんも
かあるも毎日一いちつの事ことでま。
はんせいして力を合あせて。良い
人ひとにたりますように。
約束やくそくしよしよう。
姉あねちやんやおばあちやん、久ひさ子こ姉あねさん
のいう事をすねあにきいて
夜よるにたすまで外そとにいれないよう
必ずかならず実行じっぎんしましよう。

五月二十一日

きようからは、このたよりが母ちゃんの「ことば」と
思つて、よく見て、よく考へて下さい。
学校から帰つたら、ウガイを忘れぬでね。
ごはんをたべてかう、のみさう。あやつを
たべること、あべんまよつは、宿だいのほか
算数はかならずやりましよう。
こくごは、本よみとかんじを書きます
できたら、あへんじを正直に書いてね。
ではあねがいします。
早く帰ら直ぐ家に帰り、午と足と顔を
洗つてウガイしてから、何でたべるのよ。

母ちゃんより

姉ちゃんに甘らふで、あへんじ
を書いてください。

蓮ちゃんへ

五月二十二日

きのうは、ほんとおりにありこうさんでした。
母ちゃんはおとってさうれしかった。
何でも実行できるかあるちゃん、いっでまきよう
のようにおねがいします。

五月二十一日です。から、きのうの日づけを、なあ
してね。きようは、たぶんあそくなると思ひます
で、毎日わすれないではんせいしませう。
グローブのべんしやう、代一ドルニ十セントに、また
白いはねの十セント、アードルニ十セントはあ
きます。せきにんというたいじなことを、これ
からよく気をつけてください。

お金をむだにするのはいけませんよ。
又きようは、一日の事をかいてありてね。
エニロツがふとりから、いがきたなくみえます。
とつとそろえる水んしゆうをしませう。
母ちゃんの今ばんのたのしみは二人のあへんじ
です。

ありがとう

母ちゃん

かあるちゃん

1,30円

かあるちゃんへ

さびしかったと

あまう

母ちゃんより

五月二十三日夜

母ちゃんほととぎさぶしかった。

それはい、あたより帖に何とか書いてないからです。

ねる前に、かろうづよみたいので、あけてみたう
なにもいい。

せつかく、やくそくしてあるし、母ちゃんは、たのしみ
にして、いるのです。

もう一度、ほんせいしてちようだい。

きょうは、色々^{いろく}の事があつたのね。

さんぽつめきりも、母ちゃんと一しょに

おふろにはいった、たのしいことだね。

なみの上まできて、あよ至^{いた}たかつたでしよう

けど、母ちゃんがいいう事を守^{まも}って、かおんして

く水たのめ、たいへんよかつたのです。

うかしい事、さびしい事、ほしい事、

なんでも、かくと、自分^{おんぶん}の心がきれいになる

でしよう。

きょうの母ちゃんのさぶしかったきもちを

かんがえて、わすれないで書いてね。

あねかいよ。

それからじかんをよくあそびだして、あそびに

でたら、かなうづあはあちゃんに、ありさつ

するよ。三じかんも、そとにいては、

いかになります。

きのうのわすかつたとおもうことはきょうから

なあしませようね。

五月二十三日

きょうは 水まきやぞうせんがけをしてから
ぼくは、おかあさんの所へ行って、

「ぼく 三年の学しゅうじてんかったので 月よう
日にお金 八十三と ちょうだい」と おかあさん
んにいうと 「どんなもの」と おかあさん
が いった。

「ぼくは ちやあしと まってぬと おかあさんにい
って 学しゅうじてんを とって来た。

おとうさんに 見せると おとうさんが
かわそうねと おかあさんにいった。

おかあさんは 「ええ」と 言って 「はいあ
お金は 月よう日には ちやあから 一は

ねえちやんと二人で ぎしをかっ おいで
と いった。 ぼくは よろこんで かいに
いった でも まだ出て いたかった。

それで おうちへかえると おかあさんが
いやあまんがでも かげて おいでと

いったので まんがを 二枚かぬんさんが
ニこつ ぼくも ニこつ かりて せたえした
ら おかあさんが ぼくは そばとって
たべたぞいと いった。

それから おとうさんと おかあさん
は えいがを 見んにいった ぼくは ところ
を しいて ねた。

おかあさん あやすみなさい。

六月一日

キョウ 学校で 先生が

四時間 じめに へしたは すが

は えずから えのぐの ある人

人は えのぐの ない

キナと いし。 せんせい が い

い ました。 し。 あつしやい ました

ぼくは 家へ かえって

ごばんを たべせ

「ほうそうがかりへ いきました

た。 城

金じよ 先生から えんぴ

つや 子どもほうそうげき だん

の はなしを ききました

それか が えりに かずへ

ねえさん が パドミン トン を

やして いたので ぼくも やり

ました。

それか り 家へ かえると

おの あさんが 来て いますし

いた おかあさん は おこって

いました。

それが わかっ たとき どう 思いま

したか。

べんきょうにしんけんにならないから
いまへにたり。ぶんさだめにたり
そうです。

母ちゃんは二人の子供がとまたいじ
なのです。

やくやくをまざるために。母ちゃんも、
いろくとかさんしています。

ちかごろのがあるちやんのおこない
や、ことば、たいどに。ふと、かなしくな

ります。

こんやは、涙がでたまきだしたく、

なりました。

母ちゃんはおしごとをやめる方が

いいのですか。

かあるが、もし、すなあにやくやくを
まらなかつたり、あそびだけで

自分のせきにんのべんきょうが

できなかつたりするなら、母ちゃんは

おしごとにかないで家にいます。

そして、せつやくします。

いろくなやりたいことと、おれからたく
さんできるので。

あそびたいでしようけど、自分のする
べきことをやめなないでね。

こんやのあたより、ありがとう。

六月五日

きよう 学校からかえって

ごはんを たべて まうそうげ

きょうんに いきました。

きようは だいさん回 かぐやひめに

まくもでました。

ぼくは けらいに なりました

かえりに やきゅうしあいを

はりみや 中学と まわし中家

が やつて いたので みている

と まわし 中学が ランニンググホー

ムらんを ふうつたしとキーン 大

あめが ふりました。

ぼくも すこし ぬれました

い おかあさん おやすみなさ

よくかいたけど

ざつときめいにかいてくたさい

い が わるくなつてきたようです

あつ

二月六日

かあるちゃん ^{ありの} _{おと}

母ちゃん ^{寝る} _前 ^手 _え に よんで とて ^お _う ^わ _い

しかった

おえちゃんの ^か _わ ^く _て ^ざ _ん ^ね _ん ^わ _し ^た

でも ^か _あ ^る _ま ^ん ^か ^よ _く ^か _り ^て ^あ _る ^の ^ど

か ^あ _ん ^し _ま ^す

か ^が _や ^め ^の ^ほ _う ^さ _う ^を ^母 _ち ^女 _ん ^も

き ^き _を ^い ^わ

中学生の ^や _ま ^ゆ ^う ^は ^大 _へ ^ん ^あ _ま ^し

あ ^か _っ ^た ^こ ^と ^で ^し ^よ ^う

か ^あ _る ^も ^ま ^い ^に ^ち ^あ _ん ^し ^ゆ ^う ^す ^わ ^い ^は

中学生の ^こ _ろ ^に ^は ^ま ^う ^ほ _ん ^と ^の

せん ^し ^ゆ ^に ^な ^る ^わ ^ら ^う ^ね

その ^と ^き ^に ^は ^母 _ち ^女 ^ん ^か ^あ _う ^え ^ん

だ ^ん ^ち ^よ ^う ^に ^な ^り ^ま ^す

よく ^べ _ん ^き ^う ^し ^て ^よ ^く ^あ _{そ ^で}

そして ^母 _ち ^女 ^ん ^へ ^の ^あ _た ^よ ^り ^も ^か ^け

た ^の ^で ^大 _へ ^ん ^た ^の ^し ^い ^日 ^だ ^っ ^た ^で ^す ^ね

ナ ^セ _ン ^ト ^は ^さ ^ん ^で ^あ _ま ^き ^ま ^す

ち ^よ ^き ^ん ^ば ^こ ^に ^入 ^れ ^て ^ま ^た ^か ^ん ^ほ ^ろ

ね ^ク _リ ^ス ^マ ^ス ^や ^あ _た ^ん ^じ ^よ ^う ^日 ^ま ^で

ち ^よ ^き ^ん ^が ^た ^く ^さ ^ん ^た ^ま ^る ^よ ^う ^に ^い ^つ ^も

あ ^り ^こ ^う ^さ ^ん ^で ^い ^て ^ね

あ ^や ^つ ^は ^母 _ち ^女 ^ん ^が ^ビ ^ニ ^に ^わ ^け ^て ^あ _る ^だ ^け

で ^一 _日 ^ぶ ^ん ^わ ^す ^か ^ら ^う

六月七日

かある君くん さのうのあたまよりは、せんぜん
みて口いひすね。

せつかく、母ちやんが、らよきんまひかて
あるのに、そのまゝに日つていました。

学校をすませて、家にはいつたら
まづ、けいかくをたてなさい

あたよりをみひいと、よいかんかえも
うかぶおせんよ。

すぶ、そとにでるこただけにならな
いよ、うにぬ。

きようは、父ちやんも母ちやんもあしごと
なのでさぶしいことわしよ。

で、あしごとなんやすから、きようは
みんな、あしごとするこたにして

あれたのあしごととはあべんきよう
のことゑすから、いつもよりせいだし

くやつてちようたいぬ。
ドリとさんすうを(ニケタ)れんしうして

ふくしゆう、よしゆう、
おせたら、あしたのじゆんがをし
カバンとつぎ机のせいとし、それから

じゆうのじかんにしてぬ。
たりみおしたよ。

六月十日

きょう朝 学校で はし

ぶつてが つぶれて いたので 家

で べんきょう してから ほうそう

げきだんに 行きました。 中學生が まらそんや

はばとびを して いたので ころく

おん中は なんども しっぱいして

やと おわりました。 しっぱいして

そとに だと 学校の かがみでみる

ちで した。 あとが 水の ように みえま

した。 あとが 水の ように みえま

かおえねえさんが むかえに 来て

いたので かいほうとうとすると

雨が ふつて いたので しばらく

して から はして かえりました

家で だんごや すももを たべ

ました。 ねえさんと けんかを

かあちゃん あした 子じもを

まもる なんとかという お金を

一ともしも います。 お金を

では かあちゃん おやすみな

あらよりを。

ずっとゆすんでいましたわ。ひびき、ありがどう

ホールペニはよくかけますか。

母ちゃんはやくそくを、まほさっている

のりすから、かあると、なるべくゆす

れないで、あたより、かいてね。

あめで大へんだったわね。

ぬんでかえらないでね。

あ、うふくはゆめたときにはすきぐ

きかえるように。

それから、はしし、ぶって、というのは、たぶん

ほうげん、わし、^正ハグキが、カノウして

いるというのが、^正しいと、お、い、ま、す。

まいたちのほう、う、う、ぶ、と、せ、い、ま、ん、は、

て、う、う、だ、い。

と、つ、て、と、わ、む、い、め、で、ニ、水、た、け、し、ま、す。

おべん、ま、う、う、は、か、ら、ら、ぶ、キ、ソ、ク、で、

やること。

せん、せい、の、あ、は、な、し、は、し、づ、か、に、き、り、て、

か、ら、ら、ぶ、あ、た、ま、の、な、か、に、い、ぬ、る、こ、と、

母、ち、や、ん、に、も、に、子、校、で、の、あ、は、な、し、を、

き、か、せ、て、ら、う、う、だ、い、ね。

と、つ、て、と、た、の、う、う、う、う、い、ま、の、ク、ラ、ス、は、

子、ど、も、を、ま、も、る、会、へ、の、キ、フ、金、は、あ、い、て、

あ、げ、ま、す、り、五、セ、ニ、ト、ね、

エ、ン、ゴ、ツ、は、か、つ、て、と、い、け、び、ア、イ、ス、ケ、ー、キ、を、

か、め、な、い、で、ね。

六月十一日

キぼう 学校で へんごの かんじを
曲かいた時 先生にとてき ほめら
れました。

それから とうじのとき ぼくと
けんわくと ニ人で キぼうしつのかげや
くつばことか 入口に おいてある あ
しふきを たらり したので ぼく
たちは とてき ほめられました。
家こ へえつて しゅくだい を かけて
あそびに 行こうとすると 雨が ふつて
いたので 家で あそびました。
かええね えせんが へえつて くるよ
けんわを しました。 どうしてと したら
ぼくが ねえさんの ところから エンゼ
ツをとったからです。
それから あかあさんが へえつてキま
ました。

かあちゃん あしたは ねと
ちゃん おしごと 行くでしょう。
とうちゃんはどうして しごと
んねだの おたより ちやうに かけて
ね。

六月十二日 くれ

学校で良い事をして先生にほめられ
ると。とてよい、きもちですぬ。
母ちゃんも生とのころをあまいた
して、うれしくなりました。

おげどせっかくのよい子が家にかえ
って、ねえさんとけんかするのはい
いけないわね。

もうすこしねえさんをたいごに
あもってちようだい。

それからきのうは、父ちゃんは、あた
まがいたくてやすんだそうです
休んでいるのは、母ちゃんもわかり
ませんでしたよ。

父ちゃんはおもしろいそかしくて、ある
とあそべないのがさむしいでしよう
か、まんましようね。

さっまんとしてよいそか、そうわす
から、せめて家でほしづかにやすませ
てあげるようにみんなで気をつけ
ますしよう。

では、いっていらつれやい。
つめたいものをたべすぎないように
あせをよくふいてかうまかえること

六月十二日 よる

おかあさん ほんたうの世にい金は
なになにです。か。一つかりてしごた

さい
きよう学校に ハーモニカを もつて

いって 先生が 歩いて 歩いて 木場サークル

いって ので ぼくは とて ~~も~~ も

~~学校が~~ 学校が おわつて ~~お~~ お

おにギンた どうちやんの ところへ行

とと あめを くだんがでしてギンて ぼん

てよろこんで 大どい たんを おあり

バス のりばで しゆりバス ~~も~~ のつ

へ行くと おかあさんが

いなの おかあさんが ~~ま~~ まが たせよんで

から ~~そ~~ そばを ~~た~~ たがら おかあさん

りは ~~そ~~ そばんバス ~~の~~ のそをえた

せいせんは、(1)きょういっせい、(2)しみんせい、
(3)ふどうさんせい、(4)しまとくせい

きょうめ、ありこうさんでした。

学校では、ハーモニカふいて、ほめられ
たのね。きのうはあそびのこたで

ほめられるし。よい事はわかりぬ。

さんぽつとして、本々父ちゃんにいた

だき、うめしかったでしよ(う)

よく、よんで、あはなれしよ時どき、き

かせてちようだいぬ。

かあるくんは、たいへん、いかわるく

かつてきたようです。

いそいでかくからでしよう

まちがったじもあるし、ニとはに

まちがいが、ああいようです。

百あさねとニろは、さういちど

みて、ニんどはきかいにかいてくだ

さい、そろえまかくように。

それからというニとはをつかうとニ

ろは、せんせんべつのはあはなれしよにつかう

のです。からよくいふのかくニとも

くちにだしていつてみて、ごらんねさい

ねえせんが、さいきんさいへんよくた

つてきたのに、かあるは、まけそう

ですよ、けんかせづに、なかよく、ねえ

さんについて、きょうにしでぬ。

ではありかとう

六月十五日 よる

きょう学校で、さんすうのグラフを
きれいにかけたので、先生にほめ
られて、とてもいいきもちでした。
家に、かえって、ほうそうげほぎたんに
いきましたの。

まごはじまつて、いなかつたので、あそ
んでいたうはじまつてから、すりものを
もらった。こんどのほうそうげほ
よう子さんの虫ばし、いうたいで
やりました。

よう子さんに、リフ子

西森幸エツ子

おかあさん、わからぬい

けらいニ、とやオマリ子

けらいニ、トウル

けらいニ、ほく

それで、かえつてから、ばんきようして
あそび、こいつで、かえつてから、びん
すうのばんきようをしたが、らびん
んを、たべた

では、おやすみなさい。(おわり)

六月十六日

おたよりありがとう。いっせぬむくなくてから
あわてたのね。もうすこし。じをきれいに
書いませう。たいと思ひます。

ほうそうげまだん。あとしろそうね。

あとうさんに。かあるか。口って見たいと思ひ
ませんか。それには。うんと。ゆうきか。

いるでしよう。げきのみとに。なるには。

はづかしがらず。すつかりじぶんか。その
人になりきらなけね。いけいからね。

ほかのこと。をかんがえたいで。じぶんか。

その。けらいなり。あとうさんのきもちに
ピッたりなつて。いけねば。そのこと。ほま

で。ないし。かんじ。で。ま。せん。から。ね。

せんせいのおはなし。を。よく。きいて。上。午。に

や。つ。て。ご。らん。な。さ。い。

よくあべんき。しよう。します。ね。け。め。ら。れ。て

い。き。も。ち。あ。す。ね。母。ち。や。ん。さ。う。ね。し。い

た。け。ど。か。あ。る。に。一。つ。お。ね。か。い。が。あ。る。

あまりねえちやんを。バカにして。いる。ように

みえます。ね。お。し。て。く。だ。さ。い。

ぬる。前。に。か。な。ら。づ。ハ。を。み。か。き。年。と。足

と。ま。れ。い。に。あ。ら。う。う。に。く。す。り。の。こ。と

と。め。す。水。ない。で。ね。ま。し。げ。き。だ。ん。か。ない

とき。は。波。の。上。に。あ。そ。ぶ。に。き。て。ま。い。ま。の

ひ。

き。よう。ま。ま。り。ま。し。よう。

十一月二十二日

きょう 学校で 早く 四じかん おかれ
ば よいのに なあと あそびました。

天気はよかつたけれど バスで
そらも みるよ まつちらせました。

なみのうえで あめが 降りました。
それで いえに かえりなう フロペラを ビホー

ルを かけて いえで びんきょうして い
ると 先生が 来りました。

先生と びんきょうして あつて かみ
ぬむり ました。

うち
家で 先生と びんきょう する ようになつ

て からの かんきょう を かく ようにし
たね。 やっぱ リよかつた と思う ことが

たくさん あつた でしょう
たけはら 先生は 良い 子 ですね。

ぼく たちの かわい きょうし と いこう
たいで さくぶん が かけたら ちゃんと

い、きもちで びんきょう できる
でしょう。

では ありがとう

六月二十三日

きょうががながきにしんがを屋に

けんわくんといきました

ぼくはしつぱいしました。

あかあさんのかいしゃでバスちゃんと

ジュウエスぢいをもらったので

ジュウスだいで五枚のふやしコーヒ

をのみました。

そして家ぢいえをわいていると

あかあさんがききました。

おばあさんがきょうふあさ子ねえと

んにお金五枚さらいよったよと

いきました。

ぼくは、あかあさんに五枚とおとし

ましたといったらあかあさんは

うそをいいなさいなになをわつたわ

といきました。

ぼくはなにをわづなわつたよと

いきました。

ぼくはぼくとおとしましたので

おきゅうをよめてもよいと

田ぢい

かあるぢい
ごめん日さりね母ぢいんがうたがったのは

ゆるいと思いつりふさあかぬを

のはそれだけうっかりしているわけね

そのあかぬが日くてこまるよきのことをよく

六月二十五日

くさり

三日かんとあへんじかかなくてごめ
んなさい。いっせかいてなりので。みること
かあすれられたいのね

でやっぱりかあるちやんは。えらいわね
おもしろくてかいたで。お母ちやんは
うめしく思います。

きょうはとうちやんかみや二へ行って
しまつて。おちやんも外が出ししたとさうし
かったでしよ。父ちやんは一週間
かえる。よそいだからかさんしよ。う
みんなでしつかりするばんしよ。うね。

かあるは。いっせうみに行きたくてたま
うのいのでしよ。うけど。おちやんと父ちやん
が。どつ水で行ってあげます。まて
いてね。かならずつ水でいきます。

なつは。ニ水からです。かっかりれないでね。
まいにちいうようだが。つくえや本の
あとしまつか。とておめするしよ。うです。
よくかたづけておいてください。

おはかりがとろ

またかりてしよ。うだ。

とまりこ。で。父ちやんか。のつた船ふねは。
やしおれひす。

七月十六日

おかげさまで先生は、きょうも、^{五じに}いそい
なかつた。先生は、^いはんにくるやく
そくを^しして、^こなかつた。五じまでまっ
てもなかつたので、あそびでいた。ねん
ちゃん^が、^おばんをきようして、いたので
ぼくは、^ハーモニカをふいてから
イんぎよう^をして、ねむった。
では、^あちやんかあちやんもかいてね
むは、^あやすみなさい。
それから、ねるまえに、レモンスイを
つくって、^あるので、^あちやんも
でね。

先生が来られなくて、ざんねんだったため、
母ちやんも、^はやくかえるつもりだった
けれど、^お車のあばのようじで、
ふてんおに、^行って、あそびになったので、
ごめんね。

と、^さべしかかったでしよう。
レモンスイのみました。
あじかったわ。れいぞうこのあかゲ
で、^ことしのなつは、^けんとにすべしく
て、^いわね。
おたよりかいてくれて、ありがとうございます。

七月十九日 けい日曜日

きょうは、プールに行つて、またの
しめたたひようね。

つかれたのか、かあるはすぐおむつて
しまつていた。

母やんはあしたから、ぎん二うのあれ
ごとへ行きませす。

ながいあいだやすんだいであしごとは
つめています。

からだのいあいが悪いのですから
よくいいつけをまめて、母やんを

かたしますせいで、あちやないよう
して下さいね。

かていきょうの先生はやきい人です
けれど、あまりあまえてはいけません

よくあしえて、さらす、あとなくしてね
二水からはまたあたまよりしようで

はひがでます。

いも、ぶんも、まっと、いようづに
なるようかんかりました。

カバンのせいとんつくえの上のせい
リボウシやクツなど、二水からは

よく気をつけて、ちようたいね。
かつやすみには、いったらプールや

海に行くのが、あ、くならりますね。
たり、みひし、ろ、で、あやすみ。

ぶかのさうしニみはかいてありうすの
学校に届してちようつだい

一日に一回はかならぶ本やつくえの
せいとんを忘れぬい事よ

七月二十日

火曜日

今日

きようはピーデーの工事です。

あかあさんが来るとおつたので
あえしんして学校へ行きました。

その花びしたまは少しは小ナかつ
たが先生がよくかきましたと

ほめてくれました。ほくはとてき
うれしかった。先生がおるさんつけ

えめさんとときひろさんとこうてつ
さんはこのつてがをまつて

ちようだいいといたのびまつて
きはりました。あとまいい

いうところへあかあさんや
おとうさんが四人ぐらい

したまは家にえつて
るにいさんやまやみくんと

スケットのりにかっこうへいき
ましたこうちようせんせい

はおかあさんがたがくるので

きょうは、ピーティーエーでした。

あかあさんが行ってきたさるといったので、ぼくはあさ、おそうじをてつたつて学校へ行きました。せんせいがつくとけんわくん、とぎひろ、こうてつさん、はのこつて、づがを、はつて、ちようたいとおつれやつたので、みんなできれいにはりおした。花びんの花をかいたものでした。ぼくは少し小さいけれど、先生がほめてくれたさつたので、ぼくは、とてもうれしかった。

母やんもみたでしよう
あと一まいというところへもうあかあさんや、あとうさん、たが、四五人、みえました。家にかえつてから、のぼる兄えやまさみくんと三人で学校へ行き、ステートして、いましたう校長先生がきょうは、あかあさんが、みえるので、ザーが、しして、うるさいからあさつて、のり日さいと、あつしやつたので、のぼるに、ぼくの家で、みんなあつまりスモウしました。

家で夕ごはんのとき、父ちゃんと母を、からピーティーエーのおはなしをきき、

ほくは、せいせきは、ふかったとほめらるゝし
たが、~~ほく~~ほくのあとで、ちの事など
あまりいわないように。と、やさしくレ
て、みんなと、かよくしなさいと、ちゆうい
さぬました。

ほくは、ゆるかったことを、おあして、いく
つまりです。

母ちゃん、ほくと、ねえさんと二人に、ニン
良さい集につかう。アミと、カバン
「ウンヤキ」を、かってくださいませんか。
なつやすみになつてから、で、いいと
おもいます。
では、おぬが、します。
ほくも、きつと、ゆるいと、ころを、おあ
して、いきます。

あやすみ、おあ

きょうは、ピーティーエーに、で、
くださつて、ありがたう、ございます。

七月二十一日

なあしたのを。えすのときになんども
よんでみてちようたいね。

おがめ。リかめ。とてよよいせいせき
でした。たかしくんをかいた。すがの
えは。ほんとうによくできまいた。

きょうの。おはなしを。心の中によく
おぼえて。みっかボーズにならな
いで。こめから。きそくたびしくやつて
いきますようにね。

できるだけ。おたよりちようた
書^いいて下^{くだ}さいね。

ちゆうめんのめうは。かならず
かたあげます。

ありこころさん。みた。

十月二月

きょうぼくはそろばんがっこうではじめて
手をあげてこたえがあつたのでうれ
しかった。夜はさびしかったのできつての
せりりをした。すいぶんたくさんあつ
まつていた。学まなびきう日ひ六十三日と
くささい。それからあしたスケート
へ行つてもいいですか。

とうちゃんは料理りょうりやくかつてきたかな。
とうちゃんはわすれんぼだからまた
わすれたんじやないかな。

それからぼくそろばんかつてね。
ではおやすみなさい。

おへんじください
かあちゃんのおやはくらくてこれいので
かいざんのたところへおきました。

そろばん学校に行けてよかつたわね
かあるは、何でもよくやれます。

一生いっせい懸命けんめいれんしゅうして六級の
免状めんじょうもとれたらい、わね

がんばってよ。

お金かねはあつてあきます。

あはあちゃんにしんせつにしてあげてね。
やさしい心で...

あやすみ。

◎ いじやくは、ねえちゃん二人で、~~あ~~の

十月五日

くさり

かいにいこう

きめのうのスケートや、えりがは、たのし
かったでしよ。う
お話、まきき、たかうたけど、かえりが
あそくて、ごんねんでした。

きょうは、なるべく、はやくかえらつそ
りです。が、おみせの「きうり」よう、日
すから、あそくなるか、ましれないね。
さぶしいのは、おちちゃんも、父ちゃんも
あんなじです。が、かあるが、あべんきょう
で、いそがしいように、あしごと、いそ
がしいの、です。

みんな、それ、く、べんきょうに、しごと
に、自分のギムと、せきにんを、はたす
事に、一、けんめい、かんぱい、は、
やがて、家族が、そろって、たのしく
くらせるように、なります。

いつ、きそく、たゞしく、やりと、あして、
いきましようね。

あ、あ、あ、ちゃんに、あ、ま、り、ゆるい、ことば、禁
をつか、ゆ、ない、よう。

やさしく、あ、は、な、し、で、き、る、よ、う、に、し、て
あげてね。

かあるは、やさしい、良い、子、です、から、
でき、ます、明日、は、あ、こ、づ、かい、を、た、く、さん
あ、げ、ま、す。

あやすみ

きょうはくは 冊やすきやえいつて
みましたがじじくがなかつたので

十月 五日かえつてきましました。

お金は かみにつつんであった。ものを つか
いきました。それから きょう 二十六日
もっていきませんでした。あかいは取の
きふだい 五ゆくださる。

きょう そろばんがっこうで
が あたつていました。でも 一かいは まち
かえました。そろばんは とうちゃんか
あしたがあさつてからくるそうです
ごはあやすみなさい

ジシヤクがなくてかっかりしましたね
お金の事と。そろばん学校での
事と。とてよくかけました。

だん くじょうになつてきた
ようです。から。これからもフブ
けてちようだいね。

母ちゃんけあさかつたけね。あたより
をみてとつてさうしくなり
かやのそとからかあるとねえん
のかあをのぞきました。

そろばんは とつてまよひのをかて
きてくださるように父ちゃんに

あねがいます。

では、ありがたう。
こんやのたのしみにしよすの

十月六日

きょう子ごは一夜 しろしちゃんたちから
本をかりてきてよみました。

きょうりゆとうものがたりという
しようせつでジヤングルに十八の子

どもがはいって行っていちばん小さい
子がキーのうえにいるともしらな

いごこつほがうとうとするとするところを
女の子があのせるなにもしそ

ういあ。うつのかわいそうよ
というところだわというところよ

おろしました。そして大陽がてる
と男のこにみえたのであす

してをすけてからはらあなこ
はいろいろとするところでつづくでした

ぼくはこわくなってべんきあじつごやっ
とあなよりちようをとってかきま

ました。ぬむたくしじがきをないて
ではおやすみなさい

ひろしちゃんたちでよんだ本のおはなし
とってもあもしろそうね。おちゃんもかあ

のかいたのをよんでじぶんがよんだよう
でした。もっと何かよんだ時にまた話

をきかせてようたい。きょうも母
ちゃんあそびなつてごめんね。

あしたはやくかえります。
十月六日。あへんじ。ありがとう

十月七日

きょうは、父ちゃんにゆすめたりように
そろばんと、ジヤクのお金を上げまし
た。きつと、かっきてくたさるでしよう
よく、そろばんのおべんきょうもしてね。
きょうは、先生もこられる日です。
あんまりわがま、をいぬないようにして
よく先生にならうてきょうだいね。

先生にきょうだい
~~こぶのい~~をいぬあげます。

かりものは、かならぶまいにちかりてね。
一ヶ月してあまったらきょうは、こに
いぬあげます。

せつやくしてきょうは、しましろう

あかぬは、なくしぬいように。
学校にもていかなこと。

十月八日

きょうはかなづきそろばんが、かある
を、まわっているでしようね。

げんきよく、きりつをまもるよう
いっしょにがんばってくださいよ。

父ちゃんに、あいのことばを、ゆすべ
たりしように。

あこぶかいほ、ずつと、つかってあまらう
たう、ちよきんぼに、入れるようにし
た方が、よくなかつたでしようか。

でも、しかたありませんね。

ちよきんぼには、あけたりでね。

つくえのガラスは、しらいし、しようかい
に、ぬえちやんと、しよに行つて、せん

せいきゆうして、いれさせたりね。

では、あそいで、いれだけね。

あめが、また、ふつて、きましました。

十月八日 終

父ちゃんは、なんげんも、あ店みせを、さかして

行ったが、いしやくは、なかつたせうです。

先生に、どに、あるか、きいて、みて、から

日曜日にかつたら、よいと思おもいます。

十月九日

きょうぼくがみえつて来て見ると
そろばんとそろばん入れはありまし
たが方がくじしゃくはありませんでし
た。あしたの朝はかなじらぶかって
くるよういつてください

それかお金はいは。◎ どうして口かたか
をきかずに

ニウシヨウハセン

なるだニセン

おやつのパんだい四七セシ
かんが之のな

みんなでハニ四四

ことばぬ
めいめいてきなのは

十四セントつかつたので

親にたいして

いるのは八十六ゆです。しつれりですよ。

きょうは十月八日でしたよ

母ちゃんほ七日のあへんじを
朝またかいたのひです

そろばんとそろばん入もかあるのた
めに父ちゃんほめさくおひるのい
かに来もおかぬたのにかんしや
のきもちがありませぬ。じしやく
はニフミフのあみせに行つたが
なかつたそうです。自念のかつて
ばかりいぬないで、はんせい
してことばをつかつてくださいぬ。

十月九日

学校

きょうはそろばんがっこうで わりざんは
わかりませんでした。 そのほかはみんな
わかりました。

かえってみたら

~~を~~家のガラスも いてありました。
そして 一夜べんぎようするときは
ソケットを つけて オタシンドも つけ
て ベンキようしました。

ごはんは やきごはんびとでも おいし
かった。

ではおやすみなさい

しゅうじがみ 一冊

いっしょにおそくてごめんなさいね。

そろばん学校でわりざんがわからなかつた
そうですが、わからないのが、さんねんた
ったでしょうね。でも、これからならそ
いくのですから、むりありません。

だんく、わからようになりそうです。

よく、いっしょようけんめいやりますね。

かおるが、とてよくなつてよい子
になつて、いるのが、わかります。

つくえのガラスも、水で、スタシンドも

つけられるし、水からは、べんぎよう

するの、もよけいたのしいね。

おたより、ありがとう。

五セントは、さみまうす。おこづかいよ。

せつやくしなさいね。

十月十日

きょう そろばんがっこうへいきました
にあまきぼうといたざらをして
みずたまりにおちました。

そして よつふくを きがえて
またいきました。

よる かすねえさんといのや
にいつて おもしろぶくの
本をかりてきました。

いまからよみます。

先生は あした
うごす。でも ぼくが
いかに
といいたので ぼくが
いかに
がかりして
いま

これは
あやすみなさん。

十月十一日

きょうよりよるぼくはかぎすえぬ
えさんとけんかをしたとどう
してといたらからかすえぬえさん
がかやから出しようとして
めざとぼくの二ろのかや
をめぐめちやくちにしたので
とつてもおこつたでもかあち
やんはぼくがわるいとつて
いた。ぼくはぶんきょうして
かすえぬえさんにたたかれ
たのでがまんできずにおおきな
こえを出した。でもぼくはおか
あやんにしかられた。
ぼくはくやししかつたが、がまん
しました。
ごはよやすみなさい。

かあるちゃん。しかったりしてごめんね。
母ちゃんはいそがしい時だったのぐ
だわが。わるかったかよくわからな
ったけど、おきやくさんだったのぐ。
大きなこえをだした人がわるいと思
ったのです。ア、かあるも、いつも大
きなおこえをだしてけんかするのは、
やめてちようだいね。

おばあちゃんにもよく大ごえだして
いるのをきいています。
くやしくてまがまんしたきもちはと
てもよい事でした。にんげんはま
ますきもちがなければ、みんなけんか
ばかりになるでしようね。

ねえちゃん。せつかく、母ちゃんとかい
のに行ったのに、ししゅうの本がかえ
なくて、一日中家のおつかいはかり
したので、きぶんがくしゃくして
いたのだと思えます。
ゆるしてあげてね。

しかられたけれどかあるは、かまんして
おたよりかいたのをも、母ちゃんは、とて
もえらいとかんがえます。

ありがとう、ほがうかになってね。
ごほうぶのかわりに、ちよきんにサセント
あげます。

十月十四日

きょうは ぼくは そろばんがっこうで 何まん
なんせんなん百とよみきけました。

ひるは 三時間ぐらひひるぬをし
ました。おばあちゃんかひるぬは 三

時間もひるぬをしていゝるの
いぬむりしなはいはず。目はた

つていゝるよ。といいました。
先生まわらつていゝました。

そろばんのけんしゅうちやうで
ままでやってきたよりうばん

てんがよかつた。
てんは 四十五てんでした。

では おやすみなさい。
たくさぬらたのために 晩は やっはり

よく 一番先にぬてしまつて
のびすね。

うんいづかいのけんしゅうで
きつと、つかれるのひしやう

ねる子は さだつと といゝます
からよくぬたつていゝのぬ。

そろばんは てんがとつてよかつた
めね。

で、かんぼそつとよいせいせき
をとりまへいゝね。

十月十五日 ありめ

かあるが、行つてのら、すつと、
ありめが、か、つて、い、ま、す。

母ちゃん、か、あ、き、て、カ、サ、を
さ、つ、た、ら、す、い、あ、り、ま、

た、の、で、久、子、ね、え、さ、ん、に、ま、た
せ、た、け、ど、か、あ、る、は、み、え、な

く、な、つ、て、い、た、そ、う、す。
ありめ、た、び、い、ま、す。

母、ち、や、ん、は、し、ん、は、い、び、り、た。
ありめに、ありめ、た、ら、カ、サ、を、ひ、く、か、ら

び、す、き、ま、し、ま、す。カ、ッ、パ、を、か、つ、て
す、い、ま、し、ま、す。

を、た、べ、あ、た、い、い、ふ、く、と、ま、か、え
て、ち、ま、う、だ、い、ね。

カ、サ、は、ま、つ、と、だ、い、ね、か、に、か、い、た、の
び、り、ま、う、か、ん、が、え、て、み、て、く、た、い、

朝、に、な、つ、て、か、ら、さ、が、し、て、は、か、い、
び、す、母、ち、や、ん、は、ね、ら、か、な、く、な、り、

ま、り、た、そ、れ、で、ま、い、け、ど、ありめに
ありめ、た、こ、と、が、一、番、し、ん、は、い、び、り、

こ、れ、の、ら、自、分、の、ま、ち、ま、の、は、ま、つ、と
た、い、せ、つ、に、ホ、カ、ン、し、て、ち、ま、う、だ、い、

に、入、を、つ、け、る、こ、と、ね。

十月十五日

や。まりかあ。ちやんの。うた。どおり
か。せ。な。ひ。そ。し。き。い。ま。し。た。き。
さ。も。夜。は。け。いた。い。う。う。オ。を。ま。る。
て。いた。の。で。と。こ。も。お。き。い。ん。は。
よ。か。つ。た。す。れ。ど。お。た。よ。り。ち。や。ん。
を。か。つ。と。き。こ。な。ん。だ。か。へ。ん。な。
き。け。し。ち。だ。つ。た。の。で。あ。ま。り。
か。け。ま。せ。ん。か。さ。は。か。つ。こ。う。に。も
お。あ。や。す。み。な。や。ら。い。

か。ぜ。を。い。て。き。ぶ。ん。の。め。る。い。う。に。よ。く
か。い。て。く。水。ま。し。た。母。ち。や。ん。は。と。つ。と。
し。ん。ば。い。で。し。た。が。で。ん。わ。か。け。て。き。た。ら
か。え。ら。う。と。思。つ。て。い。ま。し。た。の。に。ま。た。
な。ん。で。も。ない。と。い。つ。て。い。ま。し。た。か。ら。
お。し。ご。と。つ。づ。つ。て。い。ま。し。た。

あ。う。す。こ。し。朝。は。待。つ。て。く。水。た。ら
母。ち。や。ん。か。ち。や。ん。と。カ。サ。を。か。し。て
あ。げ。た。り。に。ね。り。う。ボ。ウ。で。カツ。ハ。を
か。あ。う。と。思。つ。て。い。つ。た。ら。休。み。で。し。た。
あ。し。た。か。つ。て。き。ま。す。

よ。く。の。ら。だ。の。こ。と。は。き。を。つ。け。て。ね。
言。う。こ。と。を。ま。め。る。よ。う。に。し。て。ち。よ。う
だ。い。朝。は。げ。ん。ま。な。か。あ。を。み。せ。て。ね。

十月十九日

きょう そろばんがっこうのかえり
りとみひらけしずおにいさんの
いえをつきとめるといつてしやりの
じどろりしやがっこうのところ林まで
いきましたが、しやうべんしてい
るとみうしなつてしまいいま
た。 たの
さうきんは つくれないので
かあちゃんのをたおるをもしつ
こいくことにしませう。 たの
ではおやすみなさい。

十月二十一日

きょう そろばんがっこうでわりざんのと
き まちがかいました。そして、よる
せんせいをむかえに、いってみると
おれかがせんせいにたたかわれて
おじいさんがきてせんせいにもん
くをいっていました。
かえりにせんせいかくがよび
れてしまった。といいました。
べんきょうをしてそばを
三つとってきてたべました。
ごはおやすみなさい。

先生

せんせに、た、かれたのはほんとうでしようか。
押尾先生が生とをた、くはづはないと
います。が、もした、いたのでしたら、とても
悪い事をしたのでしようね。

おやでさへも子供はかゆいけれど、た
く時があります。先生もおやとおんじ
です。たたく時は先生のびも手もいたか
た事でしよう。かおるちゃんは、た、か
なくて良い子ですね。

そろばん学校に先生をむかえに行か
いようにしてちょうだい。その時向か
れば本を讀んで衆で待つて下さい。
先生がごめいゆくです。からう。

十月二十二日

きょうはよくは学校で 休み時間に
へびをみました。川のところでみんなが
さわいでいるので 舞きみると 白いへび
が じんでいました。ぼくたちがかえら
うとすると へびを ちりすてばの
みでやいていました。

いえにかえって じてん車をのりまし
た。そして 家へかえって
五時四十分だったので 寝る
た。ただ つかい やすんだので さんね
んに おもいました。

では、おやすみなさい。

ちようじかきおわった時 みんなの
ねむるかねが になりました。

学校のそばに へびが いるとは おどろきすし
たね。よく 気をつけて ちようじだ。

いま 車に かんすり、むちゆうに になり
そろばんの 時間を 忘れ ましたね。

一回 休んだのが 気になる でした。二から
は、時間を よく まよ ^{おぼろ}し ましたね。

きょう、かあるは 病院 ^{びょういん} に行 った けいど
おくが よう でした。ね ^{おぼろ}し やを ニわ かった

りして ぶる える から、よく けい ハリが いらな
く たり いたむの も あい の あり。

たべもの を よく 気 を つけ て ちよう じ だ ね。

七月二十三日

きょう ぼくは 学校からかえって来た
ら、手をあらって、リンゴジュウスを
のみました。そして、のりと ゴは
んをたべてひさおくと二人で自
てん車をだして、のりしました。
きょうは、そろばん 学校へ行きました。
夜、先生が来る 時間ははむかえに 行
きませんでした。
では、おやすみなさい。

母ちゃんのい、つりをよく守ってくれて、
ありかとう、手をあらういながら、口を
ゆすぎ、うがいをしたら、冬ふゆになつて
まかせをひかないでしようね。
できたら、ずつとつづけて、ちようたいね。
けさは、七時にやくそくのようじがあ
つて、でかけましたので、かおるともねえ
ちやんともあゆなかつたので、九時半に
かえつてきました。が、もうねむつて、し
まつていきましたので、ちよつとさびし
いきもちでした。

げんきよくきりつをまもつてやつて
ちようたい。日よろ日には、一しよに
一日中、あそびましようね。

十月二十七日

キョウマクは学校で。ホスターのえが
まいた。のぞき先生にほめられ
ました。

ぼくは、はやくしよ、うじよ、うをもら
いたいなあとおもいました。

ほうびのかわりに、ちよ、^{金云}十中ぐんさ
い。おたよりちよを見てもかあちゃん
にほめられずうれしかった。

せんせい、しんぶんを、見てもら
らよかつたねとほめてもらった。

ぼくは、みんなにほめられ、
とてもうれしかった。

では、おやすみ、なさい

まいにちよくおたよりをかくて、ほん
とにありかどう、おたよりは、ど
んなにかかっています。

うれしいのです。だん、文、し、
うも、上手になつてきましたね。
だけ、ど、いの、ぬ、け、た

と、ころ、や、ま、ち、が、つ、た、と、ころ、が、よく、あり、ま、す
から、お、ち、や、ん、が、ペン、で、な、お、し、た、と、ころ、は、

よく、み、て、ち、よ、う、たい、ね。みんなに、ほ、め、ら、れ
て、ほん、と、う、に、よ、か、つ、た、わ、ね。ま、つ、と、
かん

は、つ、て、ま、つ、と、一、等、に、な、れ、る、よ、う、に、し、て、ね。
ちよ、金、は、五、十、セ、ン、ト、あ、げ、ま、し、よ、う

よい子でした。

十月二十九日

きようは、学校でじじい
会へ行きました。いどうムムは、台
風、家をこわされた。ムムやこまつて
いる。人たちのこととでそつたし
ました。ぼくはいろいろや、学用品を
おかねをあげつめた方が、いいとい
うのに、さんせいしました。
かあちゃん、ぼくは学用品、お
金、おやつもつていきます。
ごはおやすみ、なさい。
かすえねえさんは、いまからあなた
より、なやうなをかいでいます。

ねえちゃんはいまからかいていきます。といて、ど
何時かのかわかりません。ね、なるべくさいご
のところ、時間をいかにかいてね。

いどうかいで、きめた事は、とてきよい事、
です。私たち、水にた、みをぬらした
けれど、すぐ新しいのをかえたい。衣、い
をぬらしたり、本をながした人たちは、多
いいて、きつと困^{ニヤ}っているでしようね。

いぶんできるだけ、たすけてあげたら
よい事だと思います。

きよう、さんぽつに行つたか、どうか書いて
あります。わすれませんでしたね。

十一月四日

きょうは えいがけんがくです。
かあちゃんはまだ おきません。

かあちゃんのとこへ 十五円を
もらいにいくととうちゃんから

もらいたさいとむったので
いであみるとおむったので

おばあちゃんから十五円かりました
と。それから えいがかんで エミール

と少年たんでいざんできしやめ
中で エミールがお金をとら

れあいで エミールは あつとをつ
けます 少年たんでいざんでい

どもは 百人もあつたの みんなていとおの
みんがでいとおの
ひつかおの
ひしよ

とでもおもしろかつた おばあちゃんからか
四十五円

ましました。
ではおやすみなさい。

ちよん 金十円 ださい。
ぼくは ちよん をたの で やきゅう

のお面をかうつもりです。
では やきゅう の 面をかいてみます

のぼるに
さんのボ



イルをなくしたので



よし

こ水かうゆす水はいでかいて下さい。

けま

今朝はごめんね。ゆうべ父ちゃんのかえりがおそくねむらなかつたのであたまがいたかつたのです。

えいかけんかくはとつてもたのしかつたでしようね。

エミール少年と少年たんまいたんは仲がよく勇気もありますね。みんなが心によいお友だちだったおかげで、お母さんにあづかったお金を、ドロボウからとりかえておはあまにあげるので、自分がつかりあめ玉をもらったのでそのおむりじすりでもとられるわけですから、せきにんを感^あいたわけです。

そのえいがの中^ちからみならうべきなのは、少年せんたいのきょうりよくせりしんだと思^{おも}います。一人だけではできなり事をみんながエミールのためにがんばってくれるのですね。やきゆうも、チームワークというやにんが心を一つにしてこそかてるのです。みんなと一しよによいしやかいをつくるようにがんばりましょうね。十一月のおこづかいは、一ドルあげます。まい日^{まい}つかつたものをかいてね。のこつたら三十日にちよきんばこへいれるように。

やきゆうのお面は、きつとクリスマスにかそ

あげたいと思^{おも}います。

十月五日

はぬ

持

きょうばくは 学校へグローブをもって
いこうとすると、やぶれていました。
かあちゃんがつとんぱりでごきこたら
ぬってくださったさい。もしできなかつたら
たたみやさんへいってぬってもらいます。
グローブは おたよりちようの上へ
おいておきます。

五中 || ぜんぞい ◎ のニリは、いくらですか。
ニ中 || あめ かならぶのニリの金ぐく
をかいておくこと

ではおやすみなさい
のニリの金ぐくをかくこと。

朝、おたより帳に「ドル十三セント、はさんで
おいねのは、うけとったのでしようか。

ゼニガイやアメをかいたすぎませんか。
それでは、ケヨ金箱にいれるお金は、残ら
ないでしようね。セフやくしまこや、
ケヨ金のかいもあると思ひます。

時どき、とてほし、時はよいのです。
家にもおやフはあつただらうと思ひ
のです。父ちゃんも母ちゃんも夜おそく
までにはたういてるのです。からなるべく
むだづかいしないようにしてね。

グローブはた、み屋さんに持って行ってね。
してもらうようにしてね。おやすみ

十一月六日

学校に

しんじゅが

ぼくはききよういをもつていきましました。

すると、先生がめずらしいかいてす

ね。とみんなどお、異やい、ました。

そして、先生からしんじゅがいの話

をきいて、ほんとにめずらしいか

だなど思いました。

しけんは100でした。さんすう

ニ学きじゅうにあつめたしけんを

おたよりちようの上へおいておき

ます。◎さん金をかくこと◎

ではおやすみなさい。

さんすうちようめん 34

今夜もおそくなつてかおるの顔をみられ

ずとてささぶしかつた。だけれどおたよりを

みて安心しました。しけんはよくできて

いますね。がんばってくわてありがどう

しんじゅはどこから持って来たのです

か。めずらしいものを持って行って皆の

ために色々のお話をきいてよかつたね。

母ちゃん、銀行の二年目のあいめで

きぬん品のオルゴールをもらいました。

音がくもきいてみてね。かおるちゃんめす

れんぼうです。きくのうのおたより話を

へんじをかいで下さいね。そしてかならず

へんじをかいで下さいね。そしてかならず

十一月七日

しけんをみました。よくできた方ですが
水んしゅうの水害のしうべのは、四人桌
ですぬ。あれはおおるか、よくおちついで
さんだいをよんで甘いからだと思ひます
あつめてあるのは、とてよよい考之です。
まちがっているところは何れもよくよ
んで、もういちどやってみる。ドカをし
たら、よいと思ひます。ナセントあげま
すから、4ヨ金バユにいれてぬ。
はやく、いっはいになるよいいぬ。

母ちゃんのかいてあるのをよくみてから
また、おへんじをかいておくことをわす
れたいでぬ。一日中の事を何でもか
てく水たら、母ちゃんはおとてもうかい
です。正直にすねおに、まじめにぬ。
おぬかいします。

日曜日の朝から各ゴへ行きますか。
母ちゃんはおみせのしごとがありそう
で、こんどもいっしょにあそべないと思ひます。

十一月八日

~~おはよう~~ おはよう、ほくは あさは
あたまがいたかったので おそろくまで
ぬおて、ました。

夕方ごろ大しろの ねえせんがか
あちやんが 大しきやう おいでと
たのいで 洋ふくを キがえて たいおん
んけいで はか っ て 見ると ハどもあ
ったので 文ちゃんが行くなといっ
ので 洋ふくを キがえて また ねま
した。

それから 夜 おおは あちゃんをち
いっしょに おはじきを して かちま

でした。
では おやすみ なさい。

とう

父ちゃん

たいおんケい

体温計

洋服

きよう

お、しろ

かあ

あま

今日

大城

母

朝

あたま

かんじは ざし 習って いひ ければ
つかぬ 日くても よいのです。

またかぜをひいてしまったためゆゑに
あんまりおそくまで外であそ
んでいたからだとおはあちゃん
はおっしゃっています。

今ごろのかぜは、気をつければひか
いけれども、エダンすると、^{あせ}すぐか
ります。書はあはれてあつく汗かき、夜は
涼しいので、ぬぐえするので

学校からかえたら、よく手足を洗
つて、^{あせ}ぬぐいして、少し体を休めてから
あそびにでましょうたい。

長いいかんあそびなので、休みく
家にかえつてあやつをたべよう
夕方は、かならず洋服をきかえて
ウガイして、手足を洗い、お水を
流してから夕ごはんをいただきますし
ょう。かおるは、一番、体が弱いの
です。自分でも気をつけて、かぜに

まけたり、よくにしてね。
かえったら、母ちゃんとお買物に、出
かけます。姉ちゃんかかえるまで
家でしづかにしていてね。
あたまは、もういいいぶです。

十一月九日

キヨウ、ぼくはふるこねえねえといひよ
とりかごをかいにいきました。一羽の

一ばん大きいのをかいました。

ウグイスはかいませんでした。

ですからあしたかいにいきます。

か、ものこいくとらてきようも、か
なかつた。ぼくはとてもつまらなかつた。

また今夜は先牛はごはんもたべない
でかえぬました。

六のつくたさい。

お金のかんじようを

ではおやすみなさい。

さのうさぎやうかくてほんとにぶめんね。でも

つる子姉さんが買ってくれたのですから

日よう日まではあきらめについてちようだい

小鳥をもう一羽かいた。そうです。が

しばらくは、その一羽でがまんして、いてね

よくかいてうせるようにはなつてからまた

かう事にして、まいにちかいかのとか何か

で、勉強を忘れて、いるようです。ね

そろばんも二日休んでいます。から、とり

かえすために、が、んばって、ね、らいねんは

念ず所のしけんをうけるのです。から、

お金は、不十セントは、さみませう。

姉ちゃんに、ありがたうを、いって、かえして、ね。

十月十六日

きょう 左馬のおおはさんと えいがを
みに行きました。

ついでにびごでは大川はしぎょうが 二たぐ
でした。

べらんめえをんてい #もすめではひば
りが たんていになつて いました。

かえりは いらいいけんて オムライス
を たべました。

おばさんが クリスマスにかずえと
かおるちゃんに テレビをかって 上る

と いったので ぼくは クリスマスマ
ごめと 何日あるかかぞえました。

かえりは おおはさんが おおあちゃんにお
みやげと いうて 何がかつて ぼくたち

タクシを のつて かえんなさい
と いったので おおはさんから 三千円もら

って タクシーに のりました。
家まで 十時で いくから あま

らな分は 二人で わけなさいと いつたの
で ぼくは 七時か ずえねえさん

は 十時もらいました。 ぼくは ちよ金
に いました。

は おおあ やすみ なさい。

十一月十七日はね

きのうは、とつても、たのしい休み
でした。ね。じゅん子姉さんのおみ
あくりもやっただし、ハイヤードで
えいがにも行っただし、とつても、
よかったです。で、しよう、
母ちゃんも、いっしょにあそぶたい
けど、おばさんとこころをいしな
い。母ちゃんがおばのかわりにはた
らくから、今はおばもらくになっ
ているそうです。さて、きょうは、
二人のためのテレビをかうため
におみせをまわってきます。
おなじかうなら、はやくかつた
方がよいでしょう。
たのしみにして、まいにち、きり
つた、いしくよい子になるよう
は、おげんで、ちやうだい。
おばも、母ちゃんをはたらかせる
から、二人を、母ちゃんのかわり
にかわり、かかって、たさるのです。
おべんき、きょうも、しつかりやっ
て、ね。きょうは、二日ぶんとりか
えす。ようせんせい、が、こねくと、も
やっ、て、ね。

十一月十八日

きょうはよくは

まえてあつた。そ

バスのリバいの

ておのりみせのガラスをい

ました。それでぼくはこすかいを

見て見ると三十φしかありません

ん。三十φは五十五φです。から

あつた。二十φをさがりません

鳥のえさをかえる時

でかえるのどこかをしめてやり

ました。そしてついにゆにかしてし

まいました。またつかまえました。

ごはおあやすみなさん。

ボールペンははさんでおきます。

ま月しかごません。リゅうはつきりかいてね。

大へんない。たづねをしたんです。おみせのガラス

をぬるなんて、いったいどんな事をしたのです。

バスのリバいは、どこですか。どうしてそんな所まで

行ったのですか。よく書いてください。

べんしようする金は、上げます。小鳥は朝

ネコがぬらそいました。よく気をつけて、だいに

そだててね。ペンのこと、よく気がついたらね

ありがとう。おちやんのペンありましたよ。

ちかごろ、あそぶがすぎて、いるようにです。から

心をひきしめて、ちようたいね。

十一月二十日 金よう日

きよう日は そろばん学校で さう
ばんぶくろをあげて見ると 四だま
のところがぬけています。

ぼくはびっくりしました。
こんどかった そろばんなのに もう
こわしてしまっただのでも
すみません。これからほ きを
けまっす。

それから 二十五日 早くかえして
下さい。
五月中ははせんで おきます。
ガラズベンレほうい
どはおやすみなさい。

そろばんのことはきましましたの
でかきません。いふんでよく気も
つけて下さい。

二十五セントのかわり五十セントを
そのまゝ、あげます。 ガラスの
ベンレほうと 五十セントだしてどんな
きもちですか。 母ちゃんからだして
もらうて。 早く二十五セントかえして
とはいわりのがよいでしようね。
こづかいのたりなけねばとより
かきかたをかえなさい。

十一月二十一日

きょうぼくは 学校で テスト九十五
人ぞ さいうてんだったのでもともうれ
しかった。

かあちゃん 五つめ ありがとう
いました。 あしたは サツちゃんねえ
さんたちの うんどう会なので見
いきます。

あしたは少年と少女を
かっ
て
くたさるそつですぬ。

ぼくはともうれしかったか
ずえねえ
さんは 夕なにもさうなの
で 五つ
上げました。
ではおやすみなさい。

おへんいおさくちりました
母ちゃんは夜
十二時すぎで帰ったので
今日書きます。
テスト九十五点はよかつた
ですぬ。で
荷のテストだったの
でしようか。
かある君 さいきん少し
本読みが足
りないようです。文
しよと。字とだ
んだん悪くなつて
いる様な気がします。
す。とつといっし
ょうけんめにや
ってくださ
さい。おねがい
します。良い日
よう白で
したぬ。雑誌は
四買ってきま
す。

家をよくみて
夜はかいいし
ゆつしないこと。

十一月二十四日

きょう学校のしゆくで友たち
としゆくまでずがをかきに
きました。

しゆくでははんぶんしかかけを
たので家で先生にならってかき
ました。そろばんがっこうで一回
かきました。おしゆなあと田
いきました。少年のざいありが
ございました。ずがをかき
ずがをかきはさんでおきます
見てください。ではおやすみな
さい。

しゆく

首里に行く時はなるべく三人ぐら
行くそ、姉ちゃんにもよく話して行く
ようにしてね。しゆくたいでも、遠い所
へ行くのづにすむのは、近くでか
にしてちょうたい。仲尾先生にも、
だんしてからね。つがはとも色ぬ
りかよくできています。が、ニ
かいかの家が少しゆがんでいます。
やねの方はむつかしいのでし
よく見てごらんください。
父ちゃんもみて下ろが
んばうてね。

十一月二十五日

きょう 学校からかえって来て 見ると 小鳥
はしんでいました。

ぼくは かわいそうに 思いました。

どうしたのかわなあ 「ふげつも いきこいた。
鳥が どうしてしんだのかはなあ」と 思いま
した。 あと一匹き うぐいすを かつてくだ
さい もし かえなかつた物からはるごも
いごす。

では おやすみなさい。

あしたは おべんとうびす。

かわいそうに 小鳥は 死んだら ですか。
エサや 水を かえなかつた のですか。

カヤ ^を かけて やれば よかったのに。
土を 掘って うめて やれば よかったわね。

また いったか 買いましたら ね。

さいきん 仲尾 先生とは 仲良く

やっていますか。

おべんきょうも きちんとして から

マシガ など 讀む ことに して ね。

かおるは 朝 として は やい けれど。

あんまり 本よ み や かき とり する

の が み ら ぬ び くて さ ら ー い の だ す

母ちゃんに さ おべんきょう すると ころを

みせて ちょうだい。

十月二十六日

きょうは、そろばんの学校がおわって家へ行きましました。先生がきたので夕ごはんをたべました。かずえねえねえはときくとカゼいいてねむっているよといましました。

どうしたのかなあ、きょうは元気に出てガールスカウトといつていらたのにかえって来るとかぜをひいていたののでへんだなあと思ひました。それから先生といっしょにつくったまっちのいえみみたいなものをかずえねえさんのをみてつくりました。

まだ半分しかできてないのびできたらうおをよりちようの上においておきます。ではおやすみみなさん

さうでつくった家はりっぱです。けんちく屋はあんな風にして柱を一本づつつけいさんしてたてるのでしようね。仲座のおじさんもおそのおしごととしておられまうす。お江姉ちゃんはおかぜひいてしましました。かおるちゃんもかえたりしないでよくうがいしてねえいとかせひきまますから。きをつけてちようたい。朝のようにならぬこと。

十月二十八日

きょうはくが学校からかえつてみると
すきやきをしてみました。

にくはとでもおいしかった。

そしてあそびにうってかえつて来ると
テレビがありましたのでぼくはしん
ざあさんのてつだいをしました。

それとらっきゅうはつきりうつるよう
になりました。テレビはたぶんあり
がとうございました。とかあるがうて
いたとおばにうてくださったさい
これはおやすみみなさい

十月三十日

きのうはへんじかいていませんでした。
わ。かあちゃんはやっぱりうそがしかつ
たんです。ね。ぼくたちは学校がおわ
るとごはんをたべて学校へハンマー
とこのこざりをもつてうてふみいた
まをつくりました。

そろばんもしよとうぶに上りあがました。

それとぼくはおこづかいをちよ金に

入れてしまったのでみさこねえさんか
ら三十六ちよめちよかりてかつてきまし
た。ではおやすみみなさい

おたより下さい

かおるちゃん、ほんとは、ごめんね。

おによりは、すぐ見たけれど、その日
あんまりかえりがおそくなり、また
二十九日の朝は早くでかけたので
書けなかったためです。すみませんで
した。

そろぼんは、初等部に上ったんです
ってね。もう、しつかりできるよ
うになったのでしよう。おめでとう。
久子姉さんにお金は返しました。
それからおこづかいは、次のをもらう
まで、ちよきんばこに、いれないよ
うに。

テレビは、毎日とっても楽しいでし
ょう。作文を書いて下さい。テレビと
いうだけで、買ってもらった話から、
見る時の嬉しい気持ちや、かんしやの
心とか、まじめに書けたら、良い文
が、できると、思います。

おにやん、父ちゃん、は、毎晩おそ
いの、で、遊んで上げないの、です、
か、その、か、めり、テレビも、買
って、もらった、ので、す、
から、ね。かおるは、きつと、書
け、る、で、し、よ、う、
おにづかいは、明日、晩に、あ
げ、ま、す。

十二月一日

学校の

すがをわたす時三

まいともさでした。

家に行くとうろとぎぜんにいさん
が来ていました。

ぎぜんにいさんがおかしでもかいなさい
とぼくに二十五ゆくれたのであり
がとうございませすといつてもらいま
した。

ちよ金に入れてもいいですか。
ではおやすみなさい

きのうのおへんじは書いてあります
ね。テレビのお話はいやですか？

ちよ金はいれてよい、よしよ、
ずかをわたす時ではなくて、ずかは

とか、学校に出したずかは三まいと

さでした。というふうにかいたら
よいでしょう。

ちよんといったらかわい、おすね。

今夜は十時半にかえりました。

最近、自まん車にのらないよう
です。ぬいてん車はさぶしきうです。

時いきのつたらよろこぶでしょう。
姉ちゃんといっしよにおくりなさい。

とっとちよんのおたよりをよんで下さい。

十二月二日

おとうさん、お母さん、お兄さん、お姉さん、お空のぼりの家でテレビを見ました。

お空のぼりのハピやくハ町でした。

十二月三日

きょうはぼくは、家でさじのあたるくいをい
て、みごとあたりました。

このさじはさとう、れにするつもりで
す。テレビはおぼはんというものを
やるんですがやりませんでした。

かぎえねえさんはきょうもばくをい
めました。

ではおやすみなさい。

かおるちゃん、おねがいです。学校のかえり
とか、そろばんのかえりは、まっすぐお家
に、かえってちょうだい。

きょうは、おべんきょうもしなりました
でしようね。母ちゃんは、おそくたり
ましたか、いっせかえってかうかおる。

と、和江の事をき、まうすのよ。

いじめたなんていう言葉は、なぜです
か、ねえちゃんという事に口ごたえを
したので、すか。家にいる時間と、おそ
びに行く時間をきちんとするよ。つ
にしない。母ちゃんは、おしごとに出
られませんか。子供がふしつになるの
では、親のせきになりになりませうか
らぬ。よく考えてへんじ下さい。

きつとわのってくぬるでしよう。

十二月7日

きょうの学校で先生はがいなので
六くみの先生が 子どもをうんだの
ぞきようは ~~や~~ ~~あ~~ ~~い~~ ~~ふ~~ ~~ん~~ ~~た~~ ~~ち~~ ~~で~~ ~~い~~
すかたに ^い ^し ^し ^ゆ ^う ^し ^て ^あ ^い ^だ ^ん ^さ ^い
と いったのぞい ^ほ ^く ^は ^じ ^じ ^し ^ん ^さ ^い
うを

させました。
そろばん学校では、みどりざんでは
めこ ^{てん} ^す ^う ^の ^三 ^十 ^{てん} ^を ^と ^り ^ま ^し
た。 ^こ ^ん ^ど ^十 ^七 ^日 ^に ^ひ ^ゆ ^く ^な ^い ^し ^け ^あ
んが ^あ ^る ^そ ^う ^で ^す ^い ^せ ^ん ^せ ^い ^が ^う
けて ^み ^な ^さ ^い ^と ^い ^ま ^し ^ま ^し ^た ^か ^あ
ら ^う ^け ^さ ^も ^い ^い ^で ^す ^か ^な ^か ^あ
て ^い ^じ ^は ^と ^て ^も ^あ ^も ^し ^ろ ^い ^で ^す ^か
か ^あ ^ち ^や ^ん ^だ ^ち ^と ^み ^た ^ら ^う ^も ^っ ^と ^あ
も ^し ^ろ ^い ^だ ^あ ^う ^な ^あ ^と ^い ^っ ^た ^た
では ^あ ^や ^す ^み ^な ^さ ^い

先生におみまいの品を何々買ったか書く
べきだと思ひます。赤ちゃんかできて
先生は ^と ^っ ^て ^も ^い ^ん ^で ^い ^た ^事 ^で ^し ^よ ^う
さくぶんを書いておみまひしたら、次の時
に ^と ^っ ^と ^お ^喜 ^ぶ ^に ^な ^り ^ま ^す ^よ ^う ^な ^ら ^い
テレビもおもしろいでしょうが、おたより

をあめて、書いてありますね。
字が ^と ^っ ^て ^も ^き ^な ^く ^か ^あ ^る ^の ^心 ^の ^中 ^が
みえるようです。 ^と ^っ ^と ^き ^れ ^い ^な ^心 ^で ^ね
かいて下さい。 ^あ ^ね ^が ^い ^し ^ま ^す ^よ ^う ^な ^ら ^い

十二月八日

おおしろせつ

きょうからかわりの先生の大城節とい
う先生が来ました。学校ではみ
んなたのしくべんきょうしました。

先生が教室にはいっていらつしやる時
しずかにしていたので先生がこの組
はみんないせいとですわといったので
ぼくはとてもしろしかったです。

先生へのおみまいは赤ちやん用のミル
クは七枚リンゴニコで十五枚でした。
それで十五枚おつりだったのですが
それはこづかいといらしよにしてつかっ
てしましました。すみませせん。

テレビは先生とべんきょうをして
いたので八時×半からしか見ませんで
した。

先生へはあと一月ぐらいしてから
赤ちやんへのおもちやをもつて行きた
いと思ひます。

きょうからは字はきれいに書きます。
はもいまからみがくところですよ。
ごはおやすみなさい。

お二がおいをばさみます。

十二月九日

(五セント)

かふるさんめんありかとう
すじわのうて、わて母ちゃんはうれしい
や、おり父母が一生懸命働いて、おれが
ます。夕はおそくなつて、朝も起きら
れないで二人のかわいの子供の顔がみら
れないで、心残りかしました。おれでもおれ
よりをみて、どうでもうれしく、よい気持ち
でおしごとに行けます。

今夜はなるべく早くかえりやう。

お江崎ちゃんには試験がはいすうて、い
そうです。お勉強をじやましたいで。

二人で仲良く勉強して下さい。

仲良先生も毎日待っていられるそう
です。時間をよく守って外に出る前に
先生のいらしやる時間を考えておいて
ね。

大城節先生にほめられてよかったですね。
きつと、受持の先生もおびでしう。
赤ちゃんといっしょにやがて元気なお母で
学校へいらしやるでしうね。

よい心がけで大城先生とお勉強してね。
大変良い子になりました。クリスマスには
よいおくりものがありますように。

きょうもかんぱって下さい。

十二月九日

きょうは九日です。十七日まで、あと八日しかありません。しけんをうけてもいいですか。今で二どめです。

きょうは先生に十分間はかかってもらってわりさんは九十五でんでした。これだったらわりさんはオーケです。でもかげさんやみとりさんがためです。今からどんどんやっさいきたいと思ひます。

テレビのしみずじろうちゃんはおもしろかった。またはをみかいていまからじょうぶなはをつくりたいと思ひます。こはおよすなさい。

おこづかいに五セント受け取ったでしょうか。いつもよくよんでないのですね。

十七日のそろばんのしけんのためよくがんばっているようです。ぬかけさんみとりさんを

毎日れんしゅうして九十点とれるようにしてちょうだい。今のようたやっさいけ

きつとよいせいせきで七きゆう六きゆうと合格です。ハミカいている中に虫バがなくなります。でしよう。

明日も又実行して下さい。

ありがとう

十二月十日

こずかいはもらいました。ありがとうございました。もう三十ゆしかありません。どちしとといいたら二十ゆは子どもはくぶつかんの見学だいです。学校ではなあとびがはまっています。ぼくのはきれたのでかきました。そろばんは二けたのあげざんせんせいから教えてもらいました。家のテレビのズベックツイスト大会を見ました。スリーベックいまからはをみがきます。ではおやすみなさい。

校

今日の朝はとても良かったわね。毎日くつめて実行してちょうだいね。

もうすぐクリスマスとお正月がきます。たのしくすごせるようかんぱつていきましよう。父ちゃんも母ちゃんも一番十二月はいそがしいので毎晩おそいのです。さびしくてもそれぐのお勉強に精出していつまちょうだい。

朝は起きたら仕度をして本読みとかきとりをやるよう心がけて下さい。おそいのでこれだけにします。

毎日ほんとにごくろくさんです。

十二月十日

たわとびはかけるも 出さず。

けんけんのかけるも 出さず。

そろばん学校では かけさんは 五十五せん
でした。

かあちゃんクリスマスのは 朝から 休
ですか。

さびしくなんかありませんともだが
いるものさびしいことなんかないよ。

かあちゃんはテレビの アベッククイズ夫
会に スリビツク大会とかいてあります。

きょうは テレビは あまりみません。した。
学校で したし ^がおねたので かいま

す。

もう ~~は~~ はみがきました。

ごはおやすみなさい。

毎日おもしろいお話 ^を せん ^と ありかとう

なわとびは 足と共に 全身の 運動にも
なるので とてもよいものですよ。

色々のとび方をおぼえて 日曜に いっし
よにみせてみよう ^{だい}。 テレビのアベックク

イズは アの字が ^{かん} に見えましたので
ろは えいごで スリーとい

ったのです。アのじは ^{かん} しくかのようにし
てね。したいじきは 買って さいで

また 明日は よいお話 ^を させてね。

十一月十二日

きょうは学校で先生にほめられ
ました。さんすうの時間に一ばん
くやつてあなをあたったのです
せんしんのうんどうになるときいたの
ごきょうもやりました。

うんどうをしでました。高くなり
自てん車をのれるようになります。

いきました。テビはあまりみま
てした。こもきょうは下学三年生
を父ちゃんがはくに下りました。

いまからハをみがきます。

十二月十三日 朝七時

皆がよく寝るので静かに出かけて
行きます。急ぎの用事があります。
先生にほめられてかおるはいい良
子です。

かえたら色々の相談やお話などし
ました。長田のあいこが来ると
ると思います。よくおそうじして

勉強室のたづけてね。

今朝も陽は輝やっています。
たのしい一日をおくりましょうね。
行って参ります。

こいのえお

十月十五日

きょうの学校で かくれんぼを しました
みんなにげるとぼくはさがしました
ぼくは おには すぐ こうたい でした
かあちゃん ぼくは もう おこずかい は あ
りません。 かずえねえさん は ち
うに 子どもは ぐぶつかんの けんがくの
けんを はさんで います。 ぼくも ないの
で かつても いい ですか。
それから ~~四年~~ 四年の 学し いうねんが
ん七十五だ そう です。

~~この本~~ テレビ 毎の ハイウエイ
パトロールで そらで ヘリコプターで
つかまえました。
いまからは ぞろぞろ きます。
これは おやすみなさい

自分の書いたのも もう 一度 読んで 下さい
何を書いて あるのか ちよつと わから ない ですね
かくれんぼの 事 も わかる し。 おこづかいの 話 も
よく わかり ました。 さいしよに おに だったの も
かりて から。 次に ついて いて と 書 いて くれ ね。

四年の 学 習 年 鑑 は まだ は やり と 思 います。
テレビの パトロールが 何をつかまえたの ですか。
空の 字 は 忘 れ ました ね
おこづかい は ドル は さみ ます。 二人 で ね。

十二月十五日

実

きょうは 学校で修しげんは百でし
た。ぼくは あつめた 学校でぶかう
じしやくさあいます。クレパスももう
ありません。手ちょうもかつていいです
か。

そろばんも学校では かけざんが
五十でんありました。

家の テレビはおもしろいです。

さむらいのものをさむらいが
ねるものをみんなきります。

とてもおもしろいです。
いまからはをみます。

これはおやすみなさい。

毎日ハをみかくのをゆすめないので実行して
いますね。良い子です。しけんも百点
もらったのね。ありがと。

じしやくは、前に買わなかったでしようか。
午帖も買ったとおもいます。さがして

ごらんね。もし日かたら買ってさよいかど
ムダにしないようにおこづかいを使てね。
明日もまたおさくなると思います。

外で遊ぶ時間はよく考えてね。悪い、あ
そびをやめるようにおねがいます。

玉ぐわくわあーえとかやめてね。
かんじをよくゆすめています。気をつけて。

十二月十七日

きょうはそろばん学校でじゅうくないしけんがあります。ぼくはうけることになつています。

だからきょうもれんじゅうしています。

ひるは先生がグライダーをゆめと

あずこころのいじかんにつくるといふた

でかつてれんじゅうをしました。

テレビはみませんでした。

いまからはをみがきます。

ではおやすみなさい。

ごぶかいはもうこりもありません

ごぶかいはさみます。ードルです

じゅうないのしけんのけつかを明日知らせ

まちぼうだいぬくれはすはみせてぬ

グライダーはいくらで買ったのですか

おこぶかいは一セントもありませんと書

いてあります。が何と何をいくらで買

つてせんぶつ買ったというけいさんして

下さいぬけさあさぬ

母ちゃんは今朝朝寝してかおるの顔

をみませんでしたのでつてさ気にかか

りました。今夜もおそかったのでま

みらぬかかったけれどけんきさうにぬむ

つていましたので安心でした。

よくきりつを守つてくめてありがと

十二月十九日

きょうそろばん学校でしげんのてんすう
はかけざんが八十こん、わりざんが五十こん、み
とりざんが五十こんで、ごうかくでした。

一月五日にしょうじょうはわたすそうでき
す。グライダ~~グ~~ダーは、十五こんでした。

そろばんの六きゆうをはるかくをかつて
下さい。

夜はきょうもおせいそうです。

~~せん~~ あした先生は朝から来るそう
です。きょう先生といしよにグライダーを
作て、ましたが、きょうだけごはごきません
でした。ごきたらかならずおかあさんに
見せます。

ごはおやすみなさい。
かあちゃんあしたは休みですか。

明日は日曜日なので一日中家に居り
ます。

おへんじは明日書きます。

十二月二十日夜

今日はたのしいおやすみでした。
朝もおとなくお勉強してくれて
ありがたう。
そろばんもそろばんも合かきましたね。
じゆうないしけんより。全しゅれんの
しけんはむつかしいのです。から、まつと
まつと、いっしょにけんめい、水んしゅんし
るかならぶせんしゅれんのしけんも合か
くするよろはげんでしようだい。
クレパスもざっしゅん買つてまらったので
すし。せいたくしないでけんやくして下さ
いね。お父さんにまわられたとおり、こづか
いを大事に使うようにしてね。
グライダーもそれだけに、つくり方も
よくおぼえてむだのないよう、気をつけて
下さい。学生はけんやくしてこづかいを使
うのがほんとうなので、す。
少しせいたくして、いたようです。
テレビもラゲオも、さるもの、をべるもの
買えない人が、いっばい、いるのです。
かあるは、良い子ですから、まつと考えて
くねると思ひます。ふだんせつやくして
こそ、クリスマス、お正月、たんじょう日には
皆、いっしょにたのしくすごせるのです。
こんごは、みんな、でまつとせつやくしまし、ようね。

十二月二十一日

きょう学校でおしくらまんじゅうをしてあるそびました。

そろはがっこうでは三つ四つこたえ

かあだたっていましたのてよろこ

ひきました。テレビのものであけぼ

のけきじょうのしばいもしました。

おばあさんはよろこんでみていました

クレーンや少年のさっしありかとい

ごさいました。

それからいてん車のパンクもなお

ではおやすみください。

かあるくん。いごとでもみだれてきた

なくみえますね。大いそぎで書い

たのでしようね。

おしくらまんじゅうもテレビをみるの

もよいけれどつね子姉さんや先生方に

おたより書きませぬね。

そろばんは三つ四つ答があたったとの

事ですがいくつのもんだいの中にあ

たったのかめがらないのがさんねんです

もつとおちついていそががにがいて下

さいね。こづかいはいくらつかっていくら

のこったのかしらせめて下さい。

十二月二十二日

きょう学校のじゆぎょうは三時間でした。
そ水からこのあいだしんぶんに出していた
図画のしよじょうがきていました。
それでごぼくにしよじょうをめでました。
とてもうれしかった。一月五日にもそろば
んの六きゅうのしよじょうがもらえる
のでうれしい。

きょう図画もかきました。

しよじょうと図画をはさんでおきま
す。テレビでいまわかさまとりものち
うのおこそでずきんがはじまっています
ではおやすみなさい。

図画の賞状はリッパです。図画も

よく書いてあります。

「ネコがネヅミをおっているのに、たしかに
ネコもつかまえてホーキをよそっている
かおるがネコのしっぽをつかまえている
のですか。ネヅミはよく似ているけれど
大きいですね。ネコもよくかけています。
今度のお正月には、ナゴでツリかき
ると思っています。たのしいね。」

仲尾先生が来年からやめるそうです。
姉ちゃんとよく相談して勉強のけいかく
をたて、おくようにしてね。

五月二十三日

母ちゃん ぼくも 友だちとプレゼントこ
うかんしてもいいですか。もしこころかん
してもいいならサセオの こたようをニさう
かいます。あきさなくとみつ高くん。よ
はるくんです。とうちゃんがけんちゃんい
しちゃんやこくばくんはかあちゃんがやるか
らいいはずだよ。と、いいました。

それでいいですか。
それから ぼくはグローブと バットを
父ちゃんとかあちやが 下さるそうです
ね。あしたは 大倉うじで しゅぎょう
しきです。

ごは おやすみなさい

あしたさんぱつをしいきます。

おばあさんにあづけておいて下
さい。

ねえちゃんはおがールスカウトに行ったりで
一人でさぶしかったでしよう

お勉強は毎日きちんとしていますか。
ちかごろは手も足も洗ってないよう
ですが。きいにしてくださいね。

いもみがかなくなりましたんじやないから。
プレゼントの交かんはよいでしようね。

さんぽつ代もいれて一ドルはさみます。
クリスマスはみんなでたのしくしましょう。

十二月二十六日

きょうは朝先生はきませんでした。ぼくたちは十二時までまじまりましたが、きません。ぼくたちはがっかりしました。

でもじぶんたちでべんきょうしました。きのうはともたのしいクリスマスでした。かあちゃんお正月にしんぎおじさんもいくのやっぱり。いったほうがいいな、しんぎおじさんがいないとさかなうりがなから。でも、もしいかなかったら、なごに行くと、あさとの方であつてくださいます。中お先生は、びょうきがなあったら、またくるをうです。

日記はいつもかいています。

なごで、おしはもします。

はは、みがきました。

では、おやすみ下さい。

かずえは、ぼくが、とんをひいてからは、みがく。いったので、またみがかないでしよう。と、いったので、ぼくも、いったら、けつば、したりたいたりしました。

やつぱり、かずえは、なごにつれていかな。いほうがいいな。

ガラスは、あやまちで、コーラを、ぬえぬえのつくえにおこうとするとか、かすってかけました。ぼくは、ごめんと、うても、ききません。

仲尾先生がいらつしやらなくてさびしかった
でしようね。先生の病気がよくなるまで
は、教えをよく守って、今のうちに、自介
で勉強してちょうだいね。
もうすぐお正月なのでたのしいですわ。
このおたより読後、四五日すればおわ
りになるのです。来年はもっときらい
に、字も上手になるでしよう。

和江姉さんの事をかぶえとよんで
はいけない事です。

姉さんにいっよはんこつするのがかおる
の一番いけないところですよ。

口であらそって、また手をたしたり

けつきよくけんかが大きくなりまうす。

すなおにだまってあやまれば姉さん

のつくえにつけたきづの事も許して

くかるとはづです。

二人とも、おちやんのかわい、子供なみに

ナゴへつかて行けなくなりまうすよ。

仲良くしたりすれば、父ちゃんとおちやん

と一しよになつてあそべません。

かおるは、自介のたんきをおさえるよう

かまんのできる男の人になつて下さい。

口ごたえが多いようですよ。

気をつけてくかるといひのりまうす。

十一月二十八日

きょう おばあさんとかがずえねえさん
んははいしゃに行っていたのでぼくは
ひろしちゃんやとものりくんと二人で
るすげんしました。

その間 ぼくはグライダーのはねのと
りかえをしました。

おばあさんがかえって来たので

ぼくはひろしちゃんやあきさだくんと
三人でグライダーをとばしに行きました
した。とものりくんは いきませんでした
そろばん学校で 先生を 見ると とて
も 元気がうごきました。

はやくよくなつて もらいたいなと思いま
した。 夜は おばあさんが たいしんどの
しばいを テレビでやるそうなので
まごこいます。

お正月には 名ごに行くそうですね。
さかなつりのほかに やがじでたこあ
げや山の方に 行って おしばもやりた
いと思います。 きょうは あたらしい
先生がきこいました。

こんどの 先生はじゅん子ねえさんに
とてもよくにいますね。 スケートは一
つだけビヤリングがたりない車がありま
す。ごはおやすみなさい。

かおるくん、おるすばんありかどう
母ちゃんはおかける前にさかして
歩きたしをよ

学校のすへ行つたところと一君がい
一たので、おるす番をしてくれな
のかとしんはいししました。

おぼあちゃんはおをなおしてと
げないとかわいそうです。

よくなるまでするすは人をためみま

^時長瀬先生と仲良く勉強して
ちよいたいね。外であんまりあそ
びすぎないように。

つくえや本がなのせいとんをして
お正月にはゆっくりにしましたよ。

ナゴでつりやオミバタッあげなど
やりたい事がたくさんあるのね。

書きぞめの文もよく考えておいて
皆でかきくらべしましたよ。

下さい。

夜は、牛も足もハもきれいに
みがいてねる事ね
うがいもしてちよいたい

十二月二十九日

きょう朝 母ちゃんが家をでてから先生と並ばりスケートに行くことにしました。長田のおじさんのみおくりには行けませんでしたが。スケート場では半時間しかのびませんでしたのでさまに 行ってからまた行きましました。かえりに 中山にいちちゃんや 目がぬのにいちちゃんたちと あしたの一時や 十二時半ごろ行くやくそくをしました。行ってもいいですか。お帰りの日は 三時からです。テレビは今 スリラーげき場をしようがいます。
ではおやすみなさい。
うがいもします。

スケートに行くのはよいけれど、又、出校日の時間におくれないうでね。
今年はおもう明日でおわりです。
長浜先生や仲尾先生ともよく休みのしゆくたいひどのおはなしをしておきナゴへ行くのもじゆんびするようにしてね。
姉ちゃんに悪口をしてはいけません。
百カニデブなんて せの人のいうのはとていけません。がおるの姉さんです。母ちゃんのかわい、子どもです。ぎをつけて。

十二月三十日

ぎょうもなほは来ていました。ばんぎょう
が終つて おひるごはんをすませて

スケートに行きました。

それから家にかえつてしゅっこう日に
行くと友だちがもうかえつていじとさう
だよといつたのでかえりました。

ふれんでグラインダーもとばしました。

そろばん学校でかけごんのニけたを
ハナせんもとりました。

テレビはとももおもしろいのをしま
す。あはしたの夕方になごにはいくのでしよ
う。おへんじください。

＊ではおやすみなさい。

3 ねん 5
こはかある